

福祉サービス第三者評価 評価結果報告書

社会福祉法人 愛育会

横浜文化保育園

横浜市泉区上飯田 4613

【評価対象種別】

保育所

【使用評価項目】

横浜市版

| | |
|---------------|---------|
| ●実施概要 | P1 |
| ●総合評価 | P2 ~ P4 |
| ●分類別評価結果 | P5 ~P15 |
| ●利用者家族アンケート結果 | P16~P24 |
| ●利用者本人調査結果 | P25~P26 |
| ●事業者コメント | P27 |

2014年8月

評価実施機関：合同会社 評価市民・ネクスト



【評価実施概要】

| | |
|-------------|--------------------------|
| 事業所名 | 社会福祉法人 愛育会 横浜文化保育園 |
| 事業所への報告書提出日 | 2014年8月29日 (評価に要した期間)7ヶ月 |
| 評価機関 | 合同会社 評価市民・ネクスト |

評価方法

| | |
|---|---|
| <p>1、自己評価</p> <p>実施期間 2014年1月～6月13日</p> | <p>職員が評価機関より説明を受けた後、自己評価の項目に関する勉強会を数回行い、全職員が参加できるように工夫をしながら、保育園の課題について検討した。</p> <p>自己評価を職員個々に記入した。</p> <p>副園長が中心となり、園として1つにまとめた。</p> |
| <p>2、利用者家族アンケート調査</p> <p>実施期間 2014年5月19日～6月1日</p> | <p>全園児の保護者(118世帯)に対して、保育園側からアンケート用紙を手渡しで配付した。</p> <p>各保護者より、返信用封筒で、評価機関にあてて無記名で返送してもらった。</p> |
| <p>3、訪問実地調査</p> <p>実施日 第1日:2014年6月23日 第2日:2014年6月25日</p> | <p>[第1日]</p> <p>午前:保育観察。 昼食:園児と一緒に食べながら保育観察。 午後:書類調査。園長・副園長にヒアリング。</p> <p>[第2日]</p> <p>午前:朝は登園の様子を観察。その後各クラスで保育観察。 昼食:園児と一緒に食べながら保育観察。 午後:各クラス担任保育士6名、看護師1名、管理栄養士1名、新人保育士1名、保育補助1名、非常勤職員1名、主任1名に順にヒアリング。 その後、園長・副園長にヒアリング。 最後に意見交換を行い、終了。</p> |
| <p>4、利用者本人調査</p> <p>実施日 第1日:2014年6月23日 第2日:2014年6月25日</p> | <p>観察調査を調査員が各クラスで実施し、戸外での活動も観察した。</p> <p>幼児と昼食を同席した際に、観察調査や会話の中で適宜聞き取りを実施した。</p> |

【施設の概要】

横浜文化保育園は、相鉄いずみ野線「いずみ野」駅からバスで7分「ひなた山第一」バス停から歩いて1分ほどのところにあります。園は豊かな自然に囲まれ、近隣には森や畑、果樹園が広がっています。

横浜文化保育園は、昭和54年（1979年）4月に社会福祉法人愛育会によって開設されました。近くには系列法人の幼稚園があります。

敷地は670坪（2,211㎡）と広く、2003年に改築した2階建ての園舎の保育室はすべてベランダやテラスに面しており、全面ガラス扉で陽光が十分取り入れられる構造となっています。広い園庭には、乳児用、幼児用それぞれのアスレチックがあり、夏には2階のベランダで子どもたちがプールを楽しんでいます。

定員は150名（0歳児～5歳児）、開園時間は平日は7時15分～18時45分、土曜日は7時15分～15時15分です。

保育理念は「のびのびとすくすくと育ちゆくその子らしさの芽を見守る保育」を掲げ、「自分で考え行動できる子」「自分を抑え相手を思いやれる子」の育成を目標としています。

特長・優れている点

【1】子どもたちはのびのびと自分を表現し、園生活を楽しんでいます

恵まれた自然環境の中、子どもたちは、保育士に優しく見守られのびのびと毎日を過ごしています。

乳児は、保育士にたくさん話しかけられ、スキンシップをたくさんとってもらっていて、落ち着いています。保育士の声かけに、子どもたちは笑顔で視線を合わせていて保育士との信頼関係ができています。

保育士は子どもが何かできると拍手をして褒め、子どものやる気を引き出しています。乳児のときから生活の切り替え時には歌を歌い、きちんとあいさつをし、けじめのある生活の流れが身につくよう働きかけています。このような働きかけの結果、幼児になると生活の流れを身につけ、保育士の指示がなくとも自分たちで主体的に動くことができます。

遊びの場面での子どもたちはとても元気で、保育室でゲームやお絵かき、ごっこ遊び等をしたり、広い園庭を思いっきり走り回ったりしています。自分たちでルールを作ってグループで遊ぶなど、友だちとのかかわりもあります。けんかの場面では、4、5歳児になると自分たちで話し合っ解決することもできます。

保育士にたくさん話を聞いてもらっていることもあり、子どもたちはみんな、自分のことをたくさん話することができます。朝や夕方、食事の前等には、子どもたちは大きな声で全身を揺らして歌っています。また、製作の場面で自分の思いを画用紙いっぱい自由な色使いで描いたり、リトミックで全身を使って自分を表現したりし、自分らしさをのびのびと表現しています。

保育理念「のびのびとすくすくと育ちゆくその子らしさの芽を見守る保育」が実践されていることがうかがえます。

【2】保育士は優しく子どもを受け止め、子どもとの信頼関係を築いています

保育士は「一人一人の子どもとの関わりを大切にする」の姿勢に立ち、子どもとの信頼関係を築いています。

毎朝の朝礼時に保育士は保育理念を唱和しています。また、保育資料「よりよい保育をめざして」に園の目指す保育がどのようなものであるか事例を挙げて明記し、非常勤を含む全職員に配布するとともに、職員会議や研修でも話し合い、理念の浸透を図っています。

保育士は、子ども一人一人を見守り、その思いをくみ取り、子どものすべてを受け入れています。子どもからの働きかけや声かけにはきちんと応じ、しかるときにも、危険がない限りは一方向的に注意するのではなく、まずは子どもの言い分を受け止めてから子どもに分かるようにやさしく諭しています。このようにして築いた子どもとの信頼関係の中で、子どもの様子を見守り個々の子どもの興味や課題、思いなどを丁寧に把握し、保育に反映しています。

【3】保護者とのコミュニケーションに努めています

朝夕の送迎時には保育士は保護者とのコミュニケーションに努めています。個々の子どもの長所や楽しいエピソード、その時々言葉等を具体的に保護者に伝えることで保護者との会話を引き出しています。和やかな雰囲気を作り出した後で、保育士は家庭での子どもの様子や体調などを丁寧に聞きます。保護者との会話で気になることがあったときには、担任だけでなく必要に応じて園長や副園長、主任が個別に相談に乗る機会を作るなど、保護者が安心して子育てに取り組めるように支援する体制となっています。

ただし、保護者アンケートでは、園が大切にしている方針への理解が必ずしも浸透しているとはいえない面も見受けられます。保護者の理解を深めるためにも、園の取り組みの根拠となる保育理念や保育課程について、年度始めの懇談会等で口頭で分かりやすく説明する機会を設けるとともに、行事等の際に保護者アンケートを行うなど幅広い保護者の意見を聞き、保護者に保育理念が理解されているかを確認するなどの工夫が必要かと思われまます。

独自に取り組んでいる点

子どもがさまざまな体験を積めるよう工夫しています。

園では、子どもがさまざまな体験を通して自分をコントロールする力や表現力を身につけられるよう、スポーツクラブの専任講師による体操指導、リトミック専任講師によるリトミック、音楽指導、系列法人の幼稚園の温水プールでの水泳指導員によるプール遊びなど、外部講師の話を聞きながらみんなで活動する機会を設けています。

また、広い園庭は森や畑、果樹園に囲まれていて、季節の移り変わりや季節の木や花、虫などと触れ合うことができます。このように恵まれた環境を生かし、園は子どもの体力をつけるだけでなく、豊かな自然との触れ合いの中で、子どもの想像力を伸ばし、豊かな感性と科学する眼を養えるよう働きかけています。

今後の取り組みが期待される点

【1】地域とのさらなる交流

周辺の交通量の多さに加え、園庭が広く豊かな自然に触れ合えることもあり、子どもたちが地域と触れ合う機会が少なくなっています。子どもが地域を知り、人々の生活の営みに触れ社会性を培えるよう、園外保育等の機会を工夫し、年齢や発達に合った地域との触れ合いの機会を設けることが期待されます。

また、保育園には地域の子育て家庭支援の役割もあります。一時保育や園庭開放のみでなく、幅広く地域のニーズを把握・分析し、地域の特性を生かした育児講座等で園の特色や園が培ったノウハウを地域の子育て家庭にも還元するためのさらなる工夫が期待されます。

【2】職員の意欲ややりがいを引き出すための体系的・組織的な取り組み

職員の自己研さんへの意欲は強く、外部研修、内部研修が頻繁に行われていますが、園としての体系的な研修計画が作成されていません。全体の研修計画を策定する中で、個々の職員の研修計画も作っていくことが望まれます。

また、職員の職務分担表は作成されていますが、経験・能力や習熟度に応じた役割の期待水準は明文化されていません。今後は、経験や能力に応じた業務・技術の期待水準を定め、個々の職員の目標を示し、それにより、職員のやりがいを引き出すことが求められます。さらに、個別面談等で職員から満足度や要望、園の運営に関する改善点などを聞き、職員の満足度と業務改善への意欲を高めていくことも期待されます。

分類別評価結果



「ひょう太」 3つ：高い水準にある 2つ：一定の水準にある 1つ：改善すべき点がある

横浜市の評価基準に基づいて、各評価分類は1～6つの評価項目によって構成され、評価項目の評価結果によって、評価分類の評価結果が決まります。

評価領域Ⅰ 利用者（子ども）本人の尊重

| 評価分類 | 評価結果 |
|---|--|
| 評価分類に含まれる評価項目 | 評価の根拠（具体的な取り組み・工夫事例） |
| <p>I-1 保育方針の共通理解と保育計画等の作成</p> <p>(1) 保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したものになっており、全職員が理解し、実践しているか。</p> <p>(2) 保育課程は、保育の基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一義にして作成されているか。</p> <p>(3) 日常の保育を通して子どもの意見や意思を汲み取る努力をし、指導計画に反映させているか。</p> | <div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;"> </div> <ul style="list-style-type: none"> • 保育理念は「のびのびとすくすくと育ちゆくその子らしさの芽を見守る保育」としており、利用者本人を尊重したものと なっています。 • 職員は、毎朝朝礼のときに、みんなでこの保育理念を唱えており、毎日の保育業務の中で実践しています。 • 保育課程では、保育の基本方針「子どもたち一人ひとりが安定した状態で保育園生活をし、自己実現能力の充実を支え、集団適応能力を高められるよう、援助をする」に沿って、子どもの最善の利益を第一義にして作成されています。 • 保育士は子どもと話すときは、命令調ではなく「～しようね」「～してね」と、必要なことはきちんと説明し、納得できることを大切にしています。 • 子どもの意思は表情、動作あるいは言語を介してきちんと受け止めて、子どもの主体性を大切にされた指導計画を策定しています。 |
| <p>I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</p> <p>(1) 入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか。</p> <p>(2) 新入園児受け入れ時の配慮を十分しているか。</p> <p>(3) 子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。</p> | <div style="text-align: right; margin-bottom: 10px;"> </div> <ul style="list-style-type: none"> • 入園時には、保護者に入園までの生育歴を記入してもらい、生活のリズムや成長の悩みなども含めて記録しています。また、入園時には子どもおよび保護者との面談を行い、入園前の発達状況や課題を把握しています。 • 入園時に慣らし保育についての説明を行っており、保護者からの希望をアンケートで調査して、新入園時への配慮を行っています。 • 入園式は、在園児も参加していて、新しい園児が入園してくることを自覚してもらっています。 • 子どもの入園前の生育歴と、入園後の成長・発達記録は児童票に記載され、指導計画に反映されています。 |

I-3 快適な施設環境の確保



- | | |
|---|--|
| <p>(1) 子どもが快適に過ごせるような環境（清潔さ、採光、換気、照明等）への配慮がなされているか。</p> <p>(2) 沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。子どもの発達に応じた環境が確保されているか。</p> <p>(3) 子どもの発達に応じた環境が確保されているか。</p> | <ul style="list-style-type: none">• 保育室は、すべてベランダに面しており、全面ガラス扉で陽光が十分取り入れられる構造となっています。• 各保育室には、エアコンが設置され、さらに空気清浄機およびオゾン噴霧器による滅菌機器が設置されており、換気や通風が適切に行われていて、子どもたちが快適に過ごせる環境が整っています。• 0歳児、1歳児の保育室には、温水の沐浴・シャワー設備が備わっています。これらの設備は常に清潔に保たれています。• 0歳児の保育室は、フローリング部分と畳部分が仕切られており、活動内容によって適切に使い分けています。• 園内に「ピノキオホール」といって、大きなホールが確保されており、お誕生日会などのイベントで使われています。• 園庭が非常に広く、毎日さまざまな年齢のクラスが同時に活動していて、自然に異年齢交流が行われています。 |
|---|--|

I-4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力



- | | |
|---|---|
| <p>(1) 子ども一人ひとりの状況に応じて保育目標を設定し、それに合わせた個別指導計画を作成しているか。</p> <p>(2) 子ども一人ひとりの発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか。</p> | <ul style="list-style-type: none">• 入園時に、家庭の状況や成育状況を調査し、面談などで保護者の要望などを聞き取り、児童票に記録しています。• 保護者との個別の連絡ノートは3歳児まで作られており、毎日家庭の状況を保護者から書いてもらい、園からの報告をするなど丁寧な記載がなされています。幼児に関しても随時連絡ノートを使用し、家庭とのコミュニケーションが図られています。• 一人一人の状況を把握して、月間指導計画や週間指導計画を作成しています。• 子どもの成長、発達記録は児童票に記入して卒園時まで保管され、職員は必要に応じて参照して、日々の保育に生かしています。 |
|---|---|

I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



- | | |
|--|--|
| <p>(1) 特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有化されているか。</p> <p>(2) 障害児保育のための環境整備、保育内容の配慮を行っているか。</p> <p>(3) 虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。</p> <p>(4) アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができているか。</p> <p>(5) 外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して適切な配慮</p> | <ul style="list-style-type: none">• 園長を中心として積極的に障がい児の受け入れに取り組んでいますが、現在は在籍していません。食物アレルギーのある子どもが在園していますが、職員間で話し合いが行われており、必要な情報が共有されています。• 障がいに関する外部の研修を受講した保育士が研修報告書を作成し、それが職員会議で報告され、報告書は誰でも見るできるようになっています。• 虐待については、日常的に職員会議などで話し合いがなされる仕組みがあり、職員間で情報が共有されています。• アレルギー専門医による乳幼児健診を行っており、アレルギー全般の情報についても保護者からの情報を得ながら管理栄養士と看護師を中心として情報管理を行っています。 |
|--|--|

がされているか。

- アレルギーのある子どもへの給食提供の際は、別のトレイ、名札付きの食器、また移動する際の声かけ等、複数人で配慮しながら提供しています。
- 外国籍の子どもは、ベトナム、中国など多数在籍していますが、必要ときにはベトナム語と中国語の通訳を区から派遣してもらっており、保育園からのお知らせ文の翻訳や相談事の通訳など意思疎通を図っています。
- 給食献立にベトナムの代表食である「フォー」をとり入れるなど、食生活の違いなどを子どもに理解できるように配慮するなど、生活習慣、文化の違いを尊重しています。

I-6 苦情解決体制




- (1) 保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか。
- (2) 要望や苦情等を受けて、迅速に対応できる仕組みになっているか。

- 園に対する要望、苦情の受付担当窓口は主任、解決責任者は園長となっており、苦情解決体制は新年度に文書として全保護者に配布するとともに、園の玄関に掲示しています。また意見箱もこのポスターの下に設けられています。


【課題・望まれる点】

- 苦情受付、解決の担当者は決まっていますが、保護者から意見や要望を積極的にとらえようとするための仕組みや、アンケートなどで意見を出してもらう機会は作っていません。今後、より積極的に保護者からの意見や要望を聞くような仕組みを作っていくことが求められます。
- また、外部の権利擁護機関や泉区の担当窓口を保護者には周知していません。今後は苦情解決のための第三者委員や権利擁護機関、区の担当部署などの電話番号を保護者に知らせ、外部機関に直接苦情を申し立てることができるようにしていくことが望まれます。


評価領域Ⅱ サービスの実施内容

| 評価分類 | 評価結果 |
|--|---|
| 評価分類に含まれる評価項目 | 評価の根拠（具体的な取り組み・工夫事例） |
| Ⅱ-1 保育内容[遊び] |  |
| (1) 子どもが主体的に活動できる環境構成（おもちゃ・絵本、教材、落ち着いて遊べるスペースなど）ができているか。 | <ul style="list-style-type: none">• 保育室はゆとりがあり、子ども一人一人が好きな遊びをするのに十分な面積が確保されています。保育室には子どもの年齢や発達に合わせたおもちゃが並べられ、子どもが自由に取り出して遊べるようになっています。また、棚やマット等を用いてコーナー遊びの設定をするなど、落ち着いて遊べるような工夫がなされています。• 子どもが自分の好きなことをして遊び込めるよう、ゆとりのあるデイリープログラムとなっています。自由遊びでは、一人で黙々と絵本を読んだり、2人で会話しながらブロックやおままごとをしたり、グループで |
| (2) 遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。 | |
| (3) 動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に | |


| | |
|--|--|
| <p>関わる体験が取り入れられているか。</p> <p>(4) 子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。</p> <p>(5) 遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか。</p> <p>(6) 積極的な健康増進の工夫が遊びの中でなされているか。</p> | <p>ゲーム性のある遊びをしたりとそれぞれのペースで遊び込んでいます。幼児は、鬼ごっこやボール遊び等で自分たちで話し合っでルールを決めて遊んでいて、自分たちで話し合い遊びを発展させることもできています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園庭が広くさまざまな樹木草花が植えられ、園の周辺には林や果樹園が広がっています。子どもたちは園庭で、季節の移り変わりを肌で感じ、季節の花を楽しみ、カブトムシやセミの羽化を観察するなど自然と触れ合っで科学する眼を育てています。また、4、5歳児は近くの畑でジャガイモ栽培を経験しています。 ・朝や帰りの会では子どもたちはエレクトーンに合わせ、大きな声で元気に歌を歌っています。また、3、4、5歳児はリトミック・音楽指導の時間があり、3、4歳児はリトミックによる音楽表現、5歳児はリトミック表現やピアノの演奏をのびのびと楽しんでいます。 ・子ども同士のけんか等については、保育士は危険がないよう見守り、必要に応じて言葉を足して橋渡しをする等、自分たちで解決できるような援助をしています。乳児のかみつぎなどの危険な場合や、相手を傷つけるような行為がある場合には、保育士がすぐに介入しています。 ・園庭での自由遊びや時間外保育の際には、子どもたちは異年齢で自然に交わり遊んでいます。年上の子どもは「おにいさん（おねえさん）」として年下の子どもに声をかけ一緒に遊び、年下の子どもは年上の子どもの遊びの真似をするような関係が育っています。 ・保育士は遊びや一斉活動で子どもの長所やできたことを褒めて一緒に喜び、子どもが自分からやろうとする意欲が育つように働きかけています。 ・晴れていれば毎日、園庭で遊んでいます。子どもたちは広い園庭を元気に駆け回り、年齢に応じたアスレチックで遊んだり、サッカー等のボール遊びや鬼ごっこをしたりし、思いっきり身体を動かしています。 ・子どもたちがさまざまな経験を通して、自分をコントロールする力や表現力等を養えるよう、専任講師によるリトミックや音楽指導、体操指導、水泳指導員によるプール遊び、ワーク等を取り入れています。 <p>【さらに望まれる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園庭が広く近くに散歩道がないため、散歩などで子どもたちが地域と触れ合う機会が少なくなっています。子どもたちの社会性を育むためにも、地域を知り地域住民と触れ合えるような年齢や発達に合わせた企画や園外保育のさらなる取り組みが期待されます。 |
|--|--|


| | |
|---|--|
| <p>Ⅱ－1 保育内容[生活]</p> <div style="text-align: right;">  </div> | |
| <p>(7) 食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。</p> <p>(8) 食事の場、食材、食器等に配慮しているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・離乳食を食べさせるときは、自分で食べたい子どもには手づかみやスプーンで自由に食べさせるなど、一人一人のペースや意欲を尊重しゆつたりと食べさせています。保育士は「おいしいね」「ブロッコリーだよ」「上手」「すごい。自分でスプーンを使えるのだね」など、子どもが自分から |


| | |
|--|--|
| <p>(9) 子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に活かしているか。</p> <p>(10) 子どもの食生活について、家庭と連携しているか。</p> <p>(11) 午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。</p> <p>(12) 排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。</p> | <p>食べようとする意欲がわくような声かけをしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> 食育活動としては、保育室に掲示してある献立表で、3 栄養素を赤・黄・緑で表示して子どもが興味を持てるようにし、幼児は食材の色塗りや色分け等を行っています。また、5 歳児は近くの畑で育てたジャガイモを収穫し、調理してほかのクラスにふるまっています。 旬の食材を取り入れるようにするとともに切り方や彩りを工夫し、見た目でも季節感を感じられるようにしています。また、子どもの味覚の幅を広げるために、ズッキーニやパプリカ等さまざまな食材を用いるようにしています。食材は原則として国産を用い、必要に応じ食材の産地や放射エネルギーの掲示をしています。 月 1 回の給食会議では園長、副園長、保育士、管理栄養士、看護師が出席し、子どもたちの喫食状況について話し合っています。初めての食材も 2 回用いることで子どもが馴染めるよう、月 2 回のサイクルメニューとなっています。調理職員は、1 回目の様子を見て、味付けや切り方を変える等の見直しを行っています。 毎月献立表を作成し、保護者に配布しています。献立表には「食事だより」を掲載し、保護者に情報提供しています。また、玄関に献立のサンプルを掲示し情報提供しています。 乳幼児突然死症候群（SIDS）対策として、0 歳児は 5 分おき、1 歳児は 10 分おきに睡眠チェックし、記録しています。 一人一人の排泄の様子を記録し、個々のリズムに合わせてオムツ替えやトイレへの誘導を行っています。1 歳過ぎからトイレに座る練習を始め、一人一人の発達状況を見ながら保護者と相談しトイレトレーニングを個別に進めています。保護者とは送迎時の会話や連絡帳「ふれあいノート」を用いて、排泄についての情報を共有し、連携しています。 <p>【さらに望まれる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> さまざまな食に関する情報発信を行っていますが、保護者が試食する機会を設けることはしていません。懇談会等の機会を利用し検食や試食の機会を設けることにより、食への園の取り組みに対する保護者の理解がさらに深まるものと思われます。 |
|--|--|

| | |
|--|--|
| <p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理] </p> | |
| <p>(1) 子どもの健康管理は、適切に実施されているか。</p> <p>(2) 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映させているか。</p> <p>(3) 感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 健康管理マニュアルがあり、それに基づき園児一人一人の健康状態を把握しています。 1 歳から食後の歯磨き指導を行っています。乳児は保育士が仕上げ磨きをしています。4、5 歳児は自分で砂時計を見ながら歯磨きをしています。また、5 歳児は「親子でブラッシングチェック」として、保護者にも歯磨きの大切さを理解してもらうための取り組みを実施しています。 一人一人の健康診断、歯科健診の記録があり、結果は保護者に専用の用紙を用いて伝えていきます。0、1 歳児は年 2 回の健康診断に加え、毎月 |


| | |
|--|--|
| | <p>アレルギー専門医による乳児健診を実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症等への対応を明記した「感染症マニュアル」があり、看護師による研修で職員に周知しています。保護者に対しては園のしおりに登園停止基準と感染症への対応について明記し、周知しています。また、毎月の「保健だより」にも出席停止疾病一覧や季節の感染症についての情報を掲載し、保護者に周知しています。感染症発症の際には、玄関の「感染症状況」に記入し保護者に情報提供しています。 |
|--|--|

| | |
|----------------------------------|--|
| <p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]</p> |  |
| <p>(4) 衛生管理が適切に行われているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理に関するマニュアルがあり、それに基づき清掃が丁寧に行われ、清潔な状態が保たれています。 |



| | |
|---|---|
| <p>Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]</p> |  |
| <p>(5) 安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。</p> <p>(6) 事故や怪我の発生時および事後の対応体制が確立しているか。</p> <p>(7) 外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・「事故防止・対応マニュアル」「園内での事故発生時の対応」「保育園危機管理マニュアル」等、安全管理に関する各種マニュアルがあり、職員に周知しています。 ・園舎は耐震診断を受け、必要な耐震策を施しています。また、ロッカーを固定する、落下防止のために棚に扉をつける等、地震等を想定した安全対策が講じられています。 ・緊急地震速報装置を設置するとともに、地域の関係機関との連絡体制が確立しています。保護者に関しては緊急連絡網を作成しています。なお、保護者への緊急メール配信については、今後の課題と認識しています。 ・毎月、地震や火事等を想定した避難訓練を、子どもたちが参加して実施しています。 ・子どものケガについては、軽傷であっても連絡帳に記載するとともに、保護者に口頭で報告しています。また、事故報告書、ヒヤリハット報告書に記載するとともに、朝夕のミーティングや職員会議で報告し情報共有を図り、対応や改善策について話し合っています。 ・入口の施錠、防犯カメラの設置、警備会社との連携等の不審者等の侵入防止策を講じています。また、子どもや保育士向けに防犯訓練を実施しています。 |

| | |
|---|--|
| <p>Ⅱ－３ 人権の尊重</p> |  |
| <p>(1) 保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。</p> <p>(2) 必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。</p> <p>(3) 個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知している</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・全職員に園のマニュアル「よりよい保育をめざして」を配布するとともに、職員会議や研修でも確認し、「やさしい存在」であるよう意識して保育にあたっています。保育の中で気がついたことがあったときにはリーダーや主任が指導するほか、複数担任のクラスでは、保育士はお互いの情報を常に共有し、声をかけ合い保育にあたっていて、お互いに注意しフォローする体制ができています。保育士は子どもたちと目を合わせて優しく話しかけ、子どもの話に公平に耳を傾け子どもとの信頼関係を築いています。 |


| | |
|--|--|
| <p>か。</p> <p>(4) 性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 一人一人の子どもに十分な空間があり、保育室のロッカーの隅、廊下、園庭の遊具や植え込みの陰等、友だちや保育士の視線を意識せずに過ごせる場所があります。また、ホールや相談室、テラス、職員室など必要に応じて一対一で話し合える場所があります。 守秘義務や個人情報保護に関するマニュアルがあり、研修で全職員に周知しています。実習生、ボランティアに対してはマニュアルに明記するとともに、オリエンテーションで説明しています。保護者に対しては、園のしおりや手紙に明記し周知しています。 遊びや行事の役割、持ち物、服装、順番、グループ分け、整列などを性別にしません。 <p>【課題・望まれる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童票など個人情報にかかわる書類の保管方法の変更を早急に完了させることが期待されます。 |
|--|--|

| | |
|--|--|
| <p>Ⅱ-4 保護者との交流・連携</p> |  |
| <p>(1) 保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力しているか。</p> <p>(2) 個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。</p> <p>(3) 保護者の相談に応じているか。</p> <p>(4) 保育内容（行事を含む）など子どもの園生活に関する情報を提供しているか。</p> <p>(5) 保護者の保育参加を進めるための工夫をしているか。</p> <p>(6) 保護者の自主的な活動の援助や意見交換を行っているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 毎月の園だより「あいいく」やクラスだより「月のカリキュラム」で園の保育方針や取り組み、子どもたちの様子を保護者に伝えています。また、おたのしみ会と保育参観の後にクラス懇談会を実施し、保護者に情報提供をしています。 毎日の送迎時には保育士は保護者と会話し、子どもの様子をエピソードを交えて伝えています。必要な情報が確実に伝えられるように、朝夕のミーティングではあらかじめ職員間で情報共有しています。また、連絡帳を用い、保護者と情報交換しています。 保護者から相談を受けた保育士は、必ずリーダー、主任に報告し、必要があれば園長、副園長、主任が相談に応じることができる体制があります。相談内容は記録し、継続的なフォローができています。 翌年度の年間行事計画を3月中に配布し、保護者が参加しやすいように配慮しています。また、懇談会に出席できなかった保護者にはプリントを渡し、口頭で説明しています。クリスマス会に欠席した保護者には後日子どもだけの集まりに招待し、見学できるようにする等の工夫をしています。 父母会（あいいく会）があり、運動会等の手伝い等で、常にコミュニケーションをとり連携しています。 <p>【さらに望まれる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者に対して、アンケートなどで保育方針が理解されているかを把握する機会はまだありません。今後は、懇談会等の機会をとらえて保育理念について口頭で説明するとともに、行事後等にアンケートを行い保護者の意向や要望を聞き、園の保育方針や取り組みが理解されているかを確認する機会を設けることが望めます。 |


評価領域Ⅲ 地域支援機能


| 評価分類 | | 評価結果 |
|---|--|------|
| 評価分類に含まれる評価項目 | 評価の根拠（具体的な取り組み・工夫事例） | |
| Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供 |  | |
| <p>(1) 地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みを行っているか。</p> <p>(2) 地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を活かしたサービスを提供しているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・園庭開放、一時保育、育児相談を通じて、地域の子育て支援ニーズを把握するよう努めています。 ・園長・副園長が泉区幼保小教育交流事業、人権教育推進地域校泉ブロック部会、泉区子ども子育て支援会議などに出席し、地域の状況把握に努めています。 <p>【課題・望まれる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民に対する講習、研修会は行われていません。今後は、園がこれまで蓄積してきた子育てに関するノウハウを、地域の実情に合わせた形態で地域住民に提供するための取り組みが期待されます。 | |
| Ⅲ－２ 保育園の専門性を活かした相談機能 |  | |
| <p>(1) 地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。</p> <p>(2) 相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページに平日の午前 10 時から午後 4 時までの間、子育て相談を受け付ける案内を掲載しています。園長・副園長・保育主任・看護師・管理栄養士のほか、必要であれば嘱託医であるアレルギー専門医の相談も受けることができる体制になっています。例えば、トイレトレーニングや離乳食について相談を受けたことがあります。 ・子育て支援に必要とされる関係機関の連絡先リストが作成されています。また、それらの関係機関とは良好な関係が保たれています。 | |

評価領域Ⅳ 開かれた運営


| 評価分類 | | 評価結果 |
|---|--|------|
| 評価分類に含まれる評価項目 | 評価の根拠（具体的な取り組み・工夫事例） | |
| Ⅳ－１ 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ |  | |
| <p>(1) 保育園に対する理解促進のための取り組みを行っているか。</p> <p>(2) 子どもと地域との交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ジャガイモ（農産物）育成の過程を園児に体感してもらうため、地域の農家による農作業の指導を受けています。 ・園長・副園長が泉区幼保小教育交流事業に参加し、夏季保育体験実習として小学校教諭を受け入れることになっています。 ・5 歳児クラスは地域の小学校と交流し、定期的に訪問を行っています。 ・卒園児の様子を見るため。副園長と担任で小学校の訪問を行っています。また、小学校児童の在園時の様子を詳しく知るため、小学校教諭の園訪問もあります。 ・湘南台文化センター、児童野外活動センター「こどもの杜」などの地域 | |

| | |
|--|---|
| | <p>の文化・レクリエーション施設を年次計画に組み込み利用しています。</p> <p>【課題・望まれる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通の往来の激しい道路に隣接し、近隣に商店、公園はないため日常的な散歩等は行っていません。今後子どもたちが社会の一員として生育していく過程において、近隣の住民と触れ合う機会を工夫することが期待されます。 |
|--|---|

| | |
|---|---|
| <h4>IV-2 サービス内容等に関する情報提供 </h4> | |
| <p>(1) 将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報を提供しているか。</p> <p>(2) 利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 保育園のホームページには随時見学できることを掲載するとともに、更新を頻繁に行うことにより情報提供を行っています。 見学希望者に対しては、園長、副園長、主任が対応しています。また見学希望日は、原則として希望者の意向に沿っています。 |

| | |
|--|---|
| <h4>IV-3 ボランティア・実習の受け入れ </h4> | |
| <p>(1) ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。</p> <p>(2) 実習生の受入れを適切に行っているか。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ボランティア・実習生の受け入れのためのマニュアルを作成し、受け入れ担当は副園長となっています。 実習生は次世代の保育を担う学生向け実習のみならず、保育現場を知るための小学校教諭を対象とした夏季実習も受け入れています。 実習後には反省会を設け課題点への適切な助言を行うとともに、努力した点、良かった点などを褒めるようにし、実習生が保育という仕事に対してやりがいを感じられるよう配慮しています。 <p>【課題・望まれる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在ボランティア希望者がいないことからボランティアの受け入れを行っていません。また、過去の事例の記録も残されていないので、今後、記録を作成するような書式を作成しておくことが期待されます。 |

評価領域V 人材育成・援助技術の向上

| 評価分類 | 評価結果 |
|---|--|
| 評価分類に含まれる評価項目 | 評価の根拠（具体的な取り組み・工夫事例） |
| <h4>V-1 職員の人材育成 </h4> | |
| <p>(1) 保育園の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。</p> <p>(2) 職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。</p> <p>(3) 非常勤職員等にも日常の指導を</p> | <ul style="list-style-type: none"> 保育所の人材に関しては、園長、副園長がチェックし、人員の不足がないように心がけています。ただし、園としての理念・方針をふまえた上での人材育成の計画は策定されていません。 新入職員研修をはじめとして外部研修、内部研修が頻繁に行われています。外部研修を受講した場合には必ず研修報告書を提出し、これらは職員会議や内部研修会で報告されて、職員の育成に役に立っています。こ |

行っているか。

これらの研修報告会には、非常勤職員も自由に参加でき、研修報告書を読むことができます。

- 非常勤職員はクラス担当の保育士と密接なコミュニケーションが図られ、さらに主任が必要に応じて非常勤職員の相談にのっています。

【さらに望まれる点】

- 現在のところ、人材育成計画は作成されていません。今後は、人材育成計画を策定し、それに基づいた個々の職員の目標を設定し、園長や主任による客観的な評価が行われることが求められます。

V-2 職員の技術の向上



(1) 職員のスキルの段階にあわせて計画的に技術の向上に取り組んでいるか。

(2) 保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実践を振り返り、改善に努める仕組みがあるか。

(3) 保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価を行っているか。

•職員は年度の始めに自分自身の目標等を設定し文章にまとめています。年度末には、年間の実践した結果をふりかえりつつ、改善につなげようとしています。

•現段階では、職員の経験、スキルに応じて計画的に技術向上のための仕組みが作られていませんが、今年度から自己評価シートを作成して、より計画的に自己評価を行うこととなっています。

【課題・望まれる点】

•現在は、職員の自己評価をふまえた上での保育園全体としての自己評価はなされていません。今後は、保育士の自己評価をより組織的、計画的に行うことが予定されており、それらを基に、園としての自己評価が行われることが期待されます。

V-3 職員のモチベーション維持



(1) 本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているか。

•現場の職員の職務分担は詳細に決められており、権限が現場に委譲されています。




•職員の満足度、要望などは、園長、副園長が日常的なコミュニケーションから把握しています。

【課題・望まれる点】

•職員の職務分担表は作成されていますが、経験・能力や習熟度に応じた役割の期待水準は明文化されていません。経験や能力に応じて業務・技術の期待水準を定め、個々の職員の目標を示し、それにより、職員のやりがいを引き出すことが望めます。

•さらに、職員との個別面談などを通じて、職員から園の運営に関する改善点などを組織的・計画的に収集することで、職員の業務改善への意欲を高めていくことも期待されます。

評価領域Ⅵ 経営管理

| 評価分類 | 評価結果 |
|--|---|
| 評価分類に含まれる評価項目 | 評価の根拠（具体的な取り組み・工夫事例） |
| <p>Ⅵ-1 経営における社会的責任</p> <p>(1) 事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。</p> <p>(2) サービスの質を維持しつつゴミ減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境に配慮しているか。</p> | <div style="text-align: right;"></div> <ul style="list-style-type: none"> ・就業規則の中で、倫理・規範等が明文化されていて、職員は法・規範を守って業務にあたっています。 ・日常的にゴミの分別を行い、紙ゴミはリサイクルできるようにとりまとめて、ゴミの減量化やリサイクルに取り組んでいます。 <p>【課題・望まれる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギーやリサイクルなどへの取り組みは積極的に行っていますが、その方針が明文化されていません。 |
| <p>Ⅵ-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等</p> <p>(1) 保育園の理念や基本方針等について職員に周知されているか。</p> <p>(2) 重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり説明しているか。</p> <p>(3) 主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしているか。</p> | <div style="text-align: right;"></div> <ul style="list-style-type: none"> ・保育理念、基本方針については「よりよい保育をめざして」というマニュアルを職員に配布するとともに、毎朝、職員の朝礼で保育理念を唱和しています。 ・保育園の増築や駐車場の設置など、重要な意思決定の際には、保護者会組織の「あいいく会」を通して保護者に対して十分に説明しています。 ・副園長、主任は担当クラスを持たず、必要に応じて各クラスを見て回ったり、現場での保育に携わるなど、業務を全体的に把握する仕組みができています。 ・副園長、主任は個々の職員から相談を受けたり、職員の状況、能力に応じて助言や指導を行っており、スーパーバイザーとしての役割を果たしています。 |
| <p>Ⅵ-3 効率的な運営</p> <p>(1) 外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っているか。</p> <p>(2) 保育園運営に関して、中長期的な計画や目標を策定しているか。</p> | <div style="text-align: right;"></div> <ul style="list-style-type: none"> ・園長、副園長が中心となって、幼保小の連携に関する会議、泉区の子育て支援関連会議などに出席して、保育園運営に影響を与える重要な問題について、情報の収集・分析を行っています。 <p>【課題・望まれる点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園の運営に関しての中長期的な目標は策定されていません。保育を巡る政策は変わりつつありますが、その中でも園としての保育の質、あるいは方向性など将来を見据えて計画や目標を定めていくことが求められます。 |

利用者（園児）家族アンケートの結果概要

実施期間

2014年5月19日～6月1日

実施方法

保育園から全園児の保護者に直接配布（手渡し）し、回答を依頼。
各保護者より、同封の返送用封筒で、評価機関あてに無記名で返送。

回収率

41.5%（118枚配布、49枚回収）

文中の「満足度」は、「満足」・「どちらかといえば満足」の回答を合計した数値です。

【結果の特徴】

- ・園の保育目標や保育方針については、「知っている」（よく知っている＋まあ知っている）の割合は55%となっていますが、その中でその保育目標や保育方針に「賛同できる」と「まあ賛同できる」と肯定的な回答が96%と、支持率がきわめて高くなっています。
- ・年間の計画に関して、「年間の保育や行事についての説明」についての満足度は96%と高い結果でした。しかし、「年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているか」については80%にとどまっています。自由回答には「保護者の意見をとるアンケートがない」などとの意見がみられました。
- ・日常の保育内容の「生活」では「給食を楽しんでいるか」「基本的な生活習慣の自立に向けての取り組み」「昼寝や休憩が状況に応じて対応されているか」については、98%ときわめて高い満足度で、「生活」に関してはすべての質問で9割を超える満足度でした。
- ・快適さや安全対策の面で「感染症の発生状況や注意事項などの情報提供について」は98%ときわめて高い満足度でしたが、その一方「外部からの不審者侵入を防ぐ対策」については76%と相対的に低い満足度でした。これについては「入り口にカードキーを設置するなど、セキュリティをもう少し整備してほしい」といった意見も見られました。「施設設備について」は90%の満足度でしたが、自由意見には「ベビーカー置き場と傘立てができることを願っています」といった具体的な意見も見られました。
- ・職員の対応については、「子どもが大切にされているか」「子どもが保育園生活を楽しんでいるか」「話しやすい雰囲気、態度であるかどうか」で98%ときわめて高い満足度でした。
- ・総合的な満足度では「満足」が65.3%、「どちらかという満足」が26.5%で、合わせると91.8%と9割を超える満足度でした。

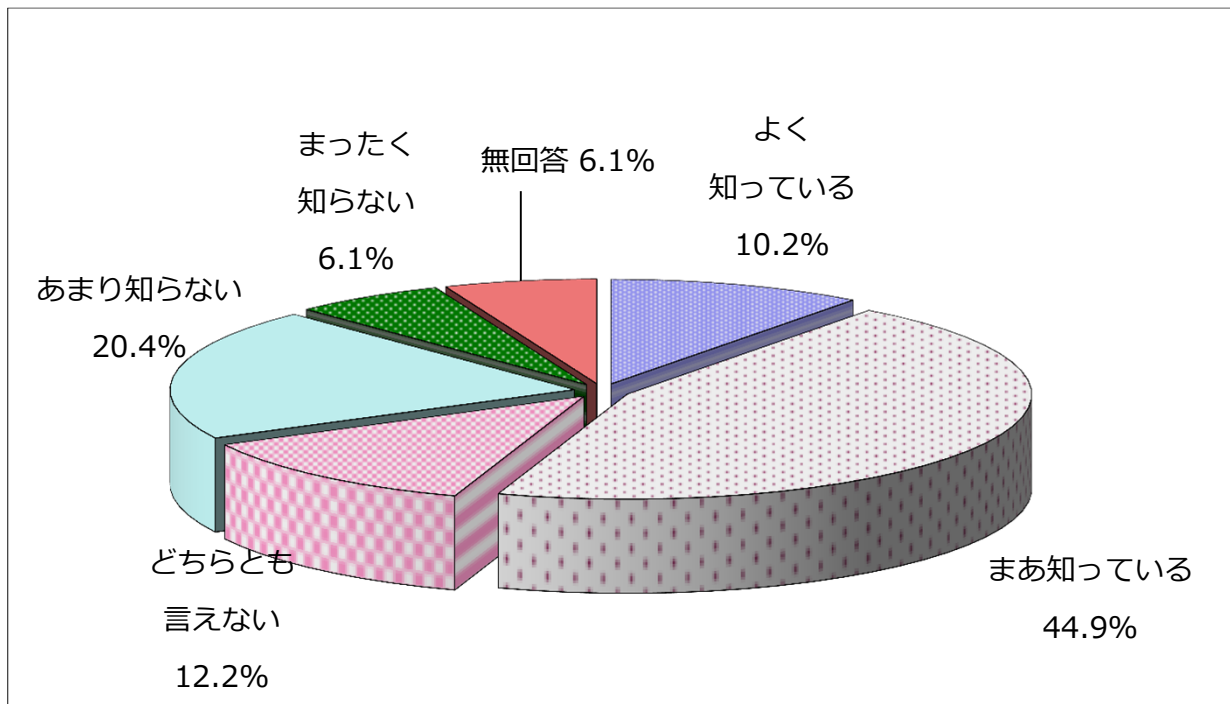
【参考】

- ・大問ごとの平均満足度は、「日常の保育内容（生活）」と「職員の対応について」が96%を上回っているのをはじめとして、ほとんどが90%を超えていました。
- ・相関分析のデータからは、「お子さんに関する重要な情報の連絡体制」「送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換」「保護者からの相談事への対応」などの設問の結果が、保育園の総合的評価に大きく影響を及ぼしていることが読み取れます。

利用者（園児）家族アンケート 集計結果・分析

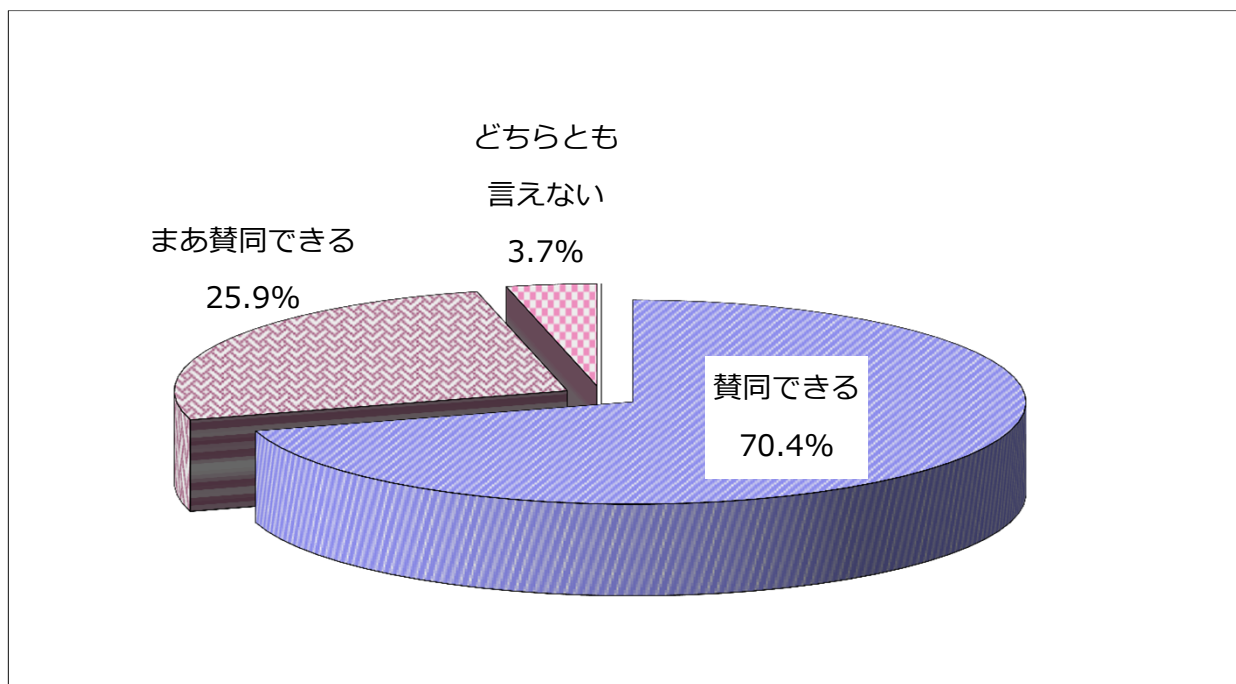
■ 保育園の基本理念や基本方針について

問1 保育園の保育目標や保育方針を知っていますか



「よく知っている」「まあ知っている」と答えた方への付問

付問1 その保育目標や保育方針は賛同できるものだと思いますか

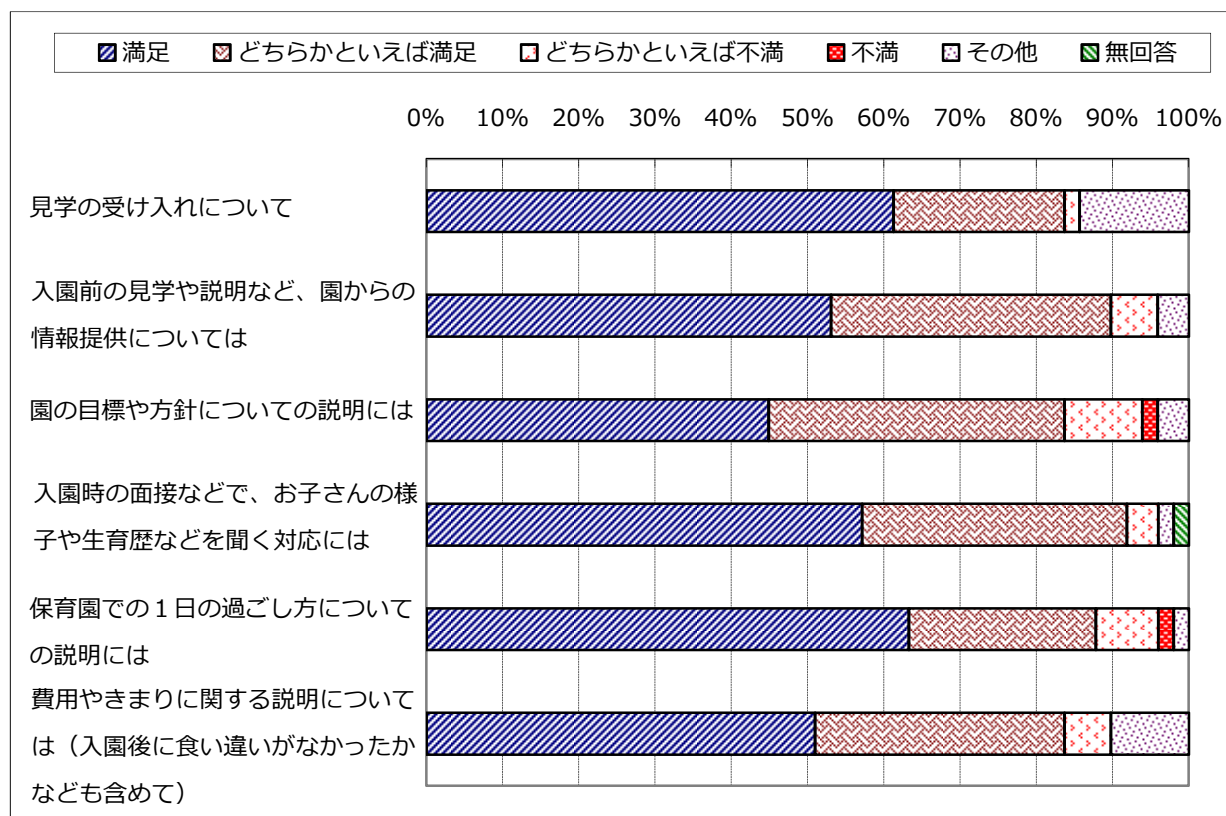


■ 保育園のサービス内容について

(%)

問2 入園時の状況について

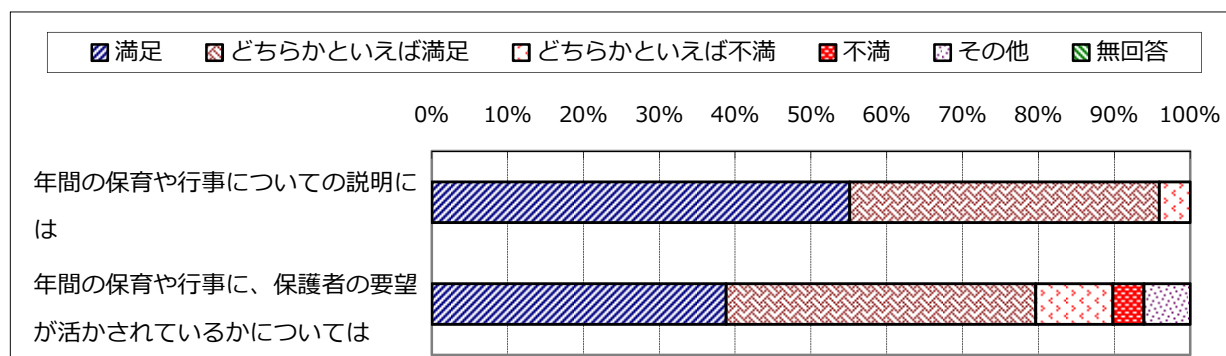
| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 |
|---|------|------------|------------|-----|------|-----|
| 見学の受け入れについて | 61.2 | 22.4 | 2.0 | 0.0 | 14.3 | 0.0 |
| 入園前の見学や説明など、園からの情報提供については | 53.1 | 36.7 | 6.1 | 0.0 | 4.1 | 0.0 |
| 園の目標や方針についての説明には | 44.9 | 38.8 | 10.2 | 2.0 | 4.1 | 0.0 |
| 入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には | 57.1 | 34.7 | 4.1 | 0.0 | 2.0 | 2.0 |
| 保育園での1日の過ごし方についての説明には | 63.3 | 24.5 | 8.2 | 2.0 | 2.0 | 0.0 |
| 費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかなども含めて) | 51.0 | 32.7 | 6.1 | 0.0 | 10.2 | 0.0 |



(%)

問3 年間の計画について

| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 |
|--------------------------------|------|------------|------------|-----|-----|-----|
| 年間の保育や行事についての説明には | 55.1 | 40.8 | 4.1 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては | 38.8 | 40.8 | 10.2 | 4.1 | 6.1 | 0.0 |

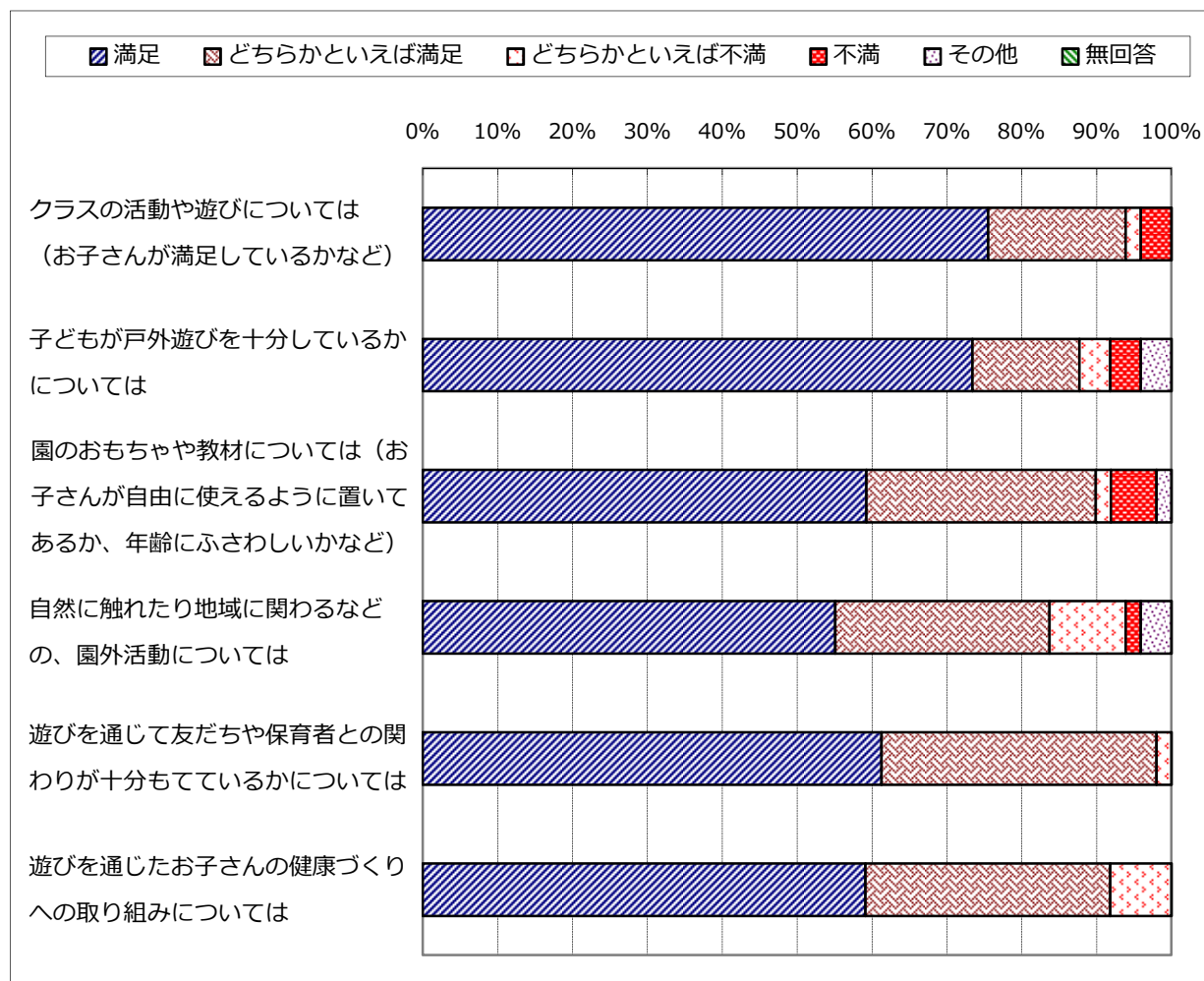


問4 日常の保育内容について

● 「遊び」について

(%)

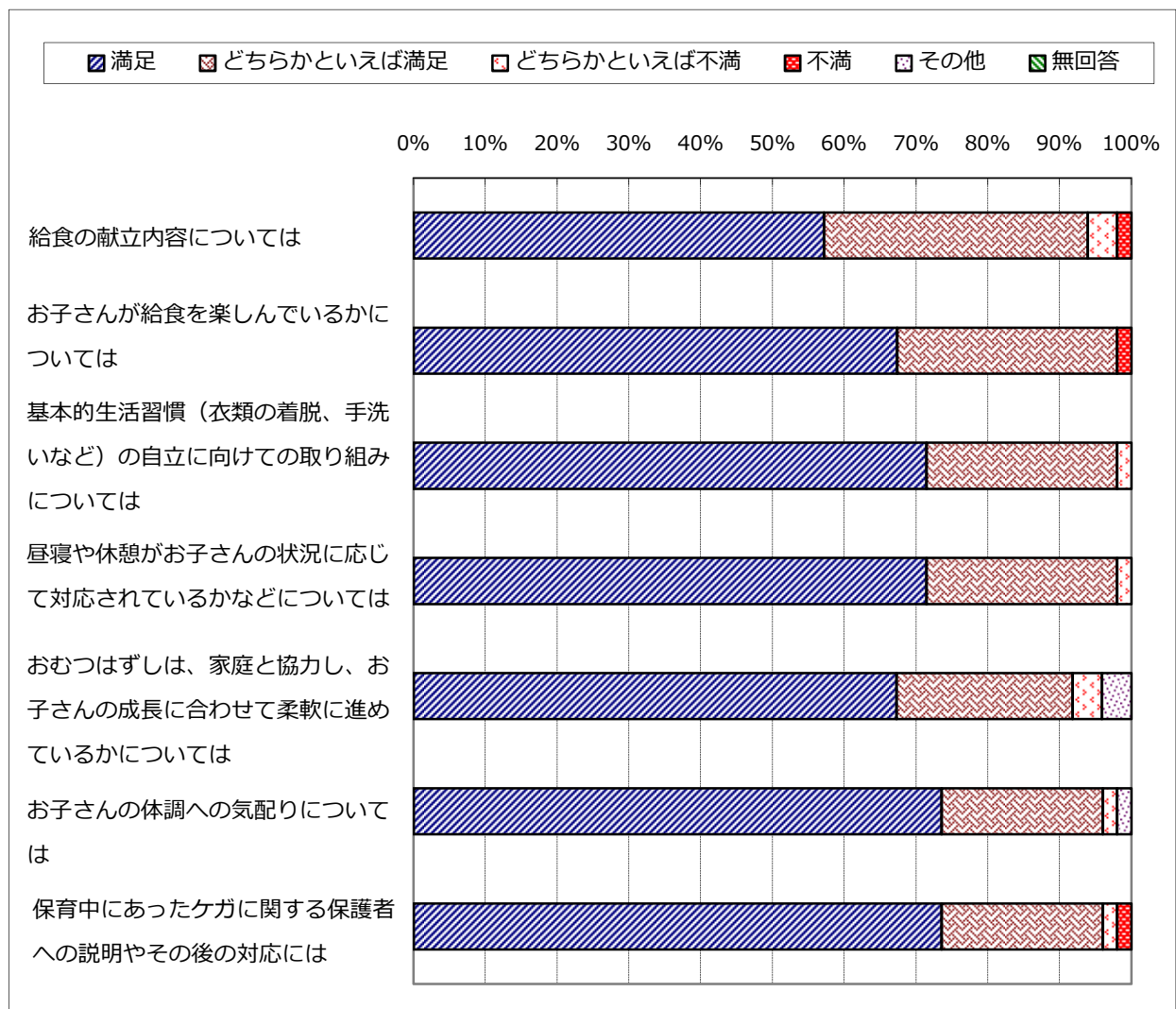
| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 |
|--|------|------------|------------|-----|-----|-----|
| クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど) | 75.5 | 18.4 | 2.0 | 4.1 | 0.0 | 0.0 |
| 子どもが戸外遊びを十分しているかについては | 73.5 | 14.3 | 4.1 | 4.1 | 4.1 | 0.0 |
| 園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど) | 59.2 | 30.6 | 2.0 | 6.1 | 2.0 | 0.0 |
| 自然に触れたり地域に関わるなどの、 園外活動については | 55.1 | 28.6 | 10.2 | 2.0 | 4.1 | 0.0 |
| 遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては | 61.2 | 36.7 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては | 59.2 | 32.7 | 8.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |



●「生活」について

(%)

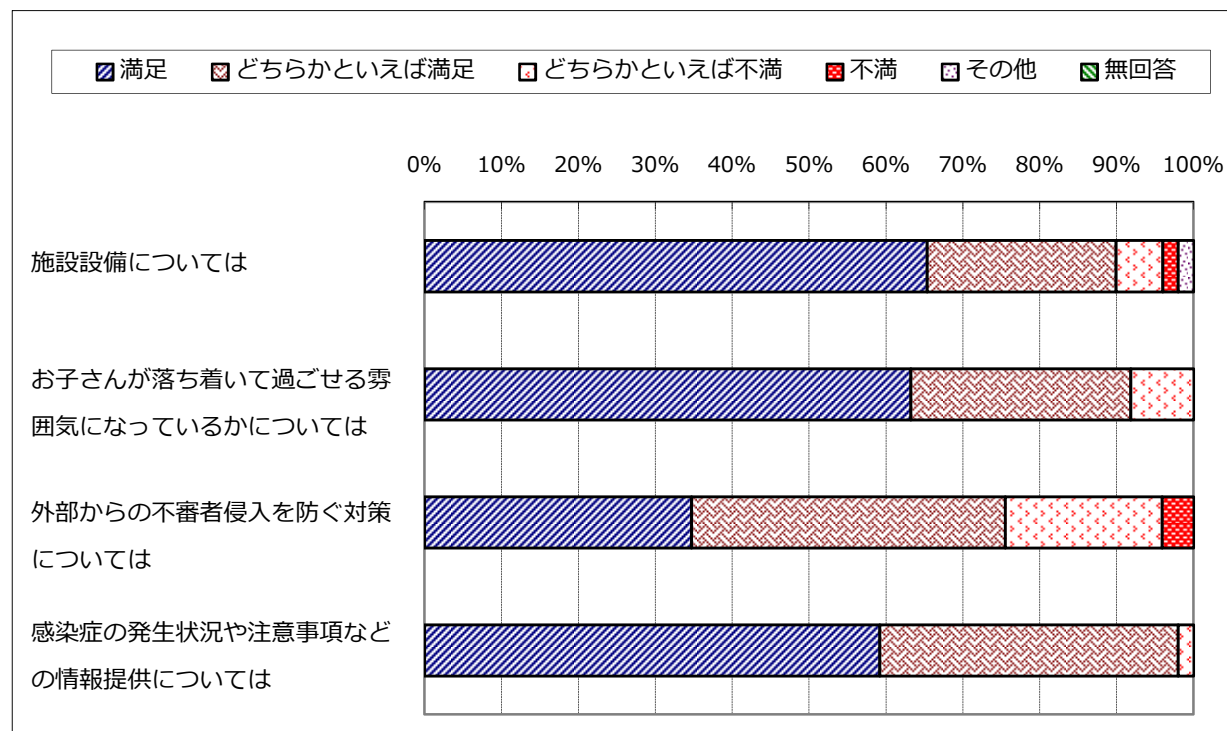
| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 |
|---|------|------------|------------|-----|-----|-----|
| 給食の献立内容については | 57.1 | 36.7 | 4.1 | 2.0 | 0.0 | 0.0 |
| お子さんが給食を楽しんでいるかについては | 67.3 | 30.6 | 0.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 |
| 基本的な生活習慣（衣類の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては | 71.4 | 26.5 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては | 71.4 | 26.5 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては | 67.3 | 24.5 | 4.1 | 0.0 | 4.1 | 0.0 |
| お子さんの体調への気配りについては | 73.5 | 22.4 | 2.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 |
| 保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には | 73.5 | 22.4 | 2.0 | 2.0 | 0.0 | 0.0 |



問5 快適さや安全対策などについて

(%)

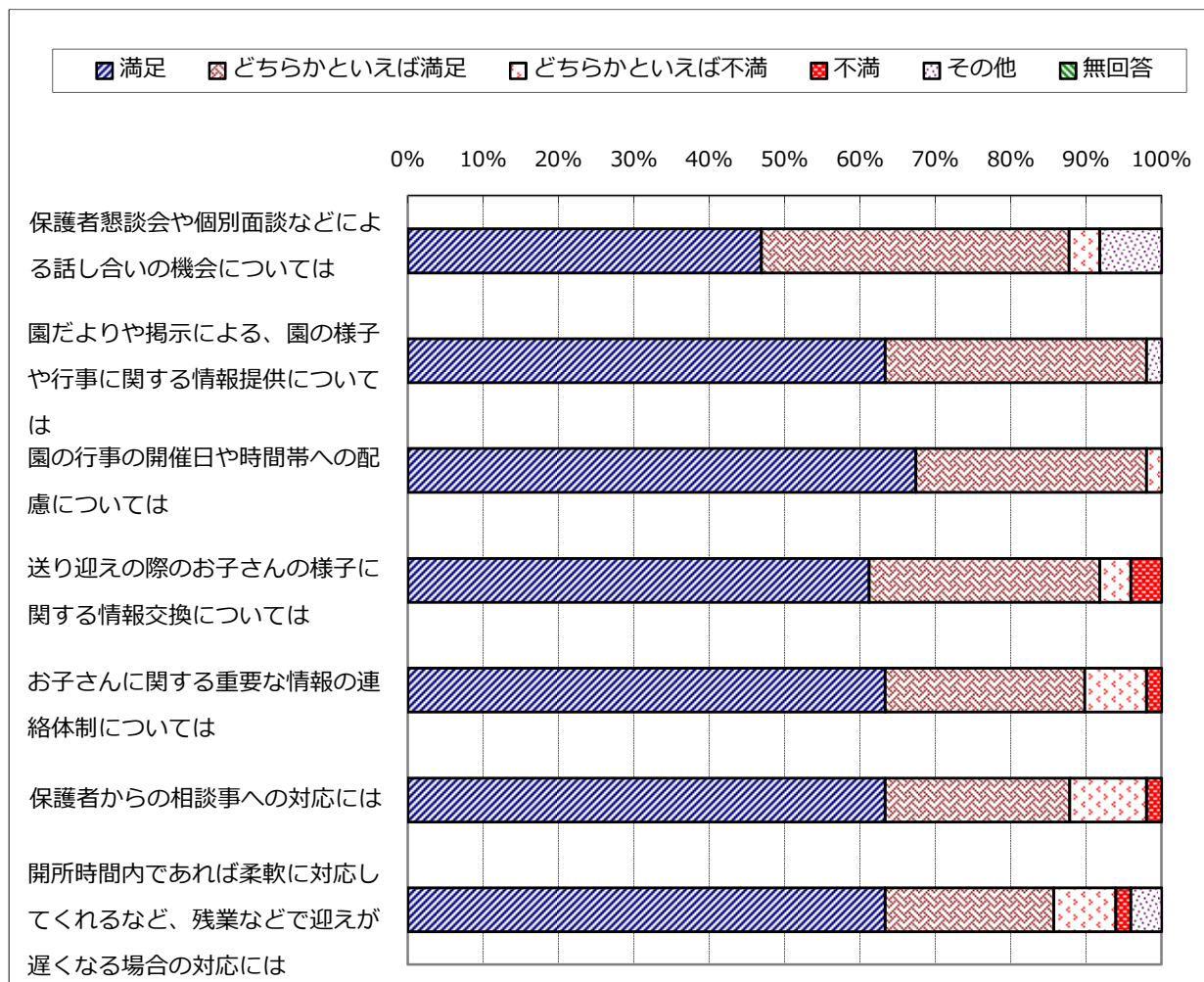
| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 |
|-------------------------------|------|------------|------------|-----|-----|-----|
| 施設設備については | 65.3 | 24.5 | 6.1 | 2.0 | 2.0 | 0.0 |
| お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては | 63.3 | 28.6 | 8.2 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 外部からの不審者侵入を防ぐ対策については | 34.7 | 40.8 | 20.4 | 4.1 | 0.0 | 0.0 |
| 感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については | 59.2 | 38.8 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |



問6 園と保護者との連携・交流について

(%)

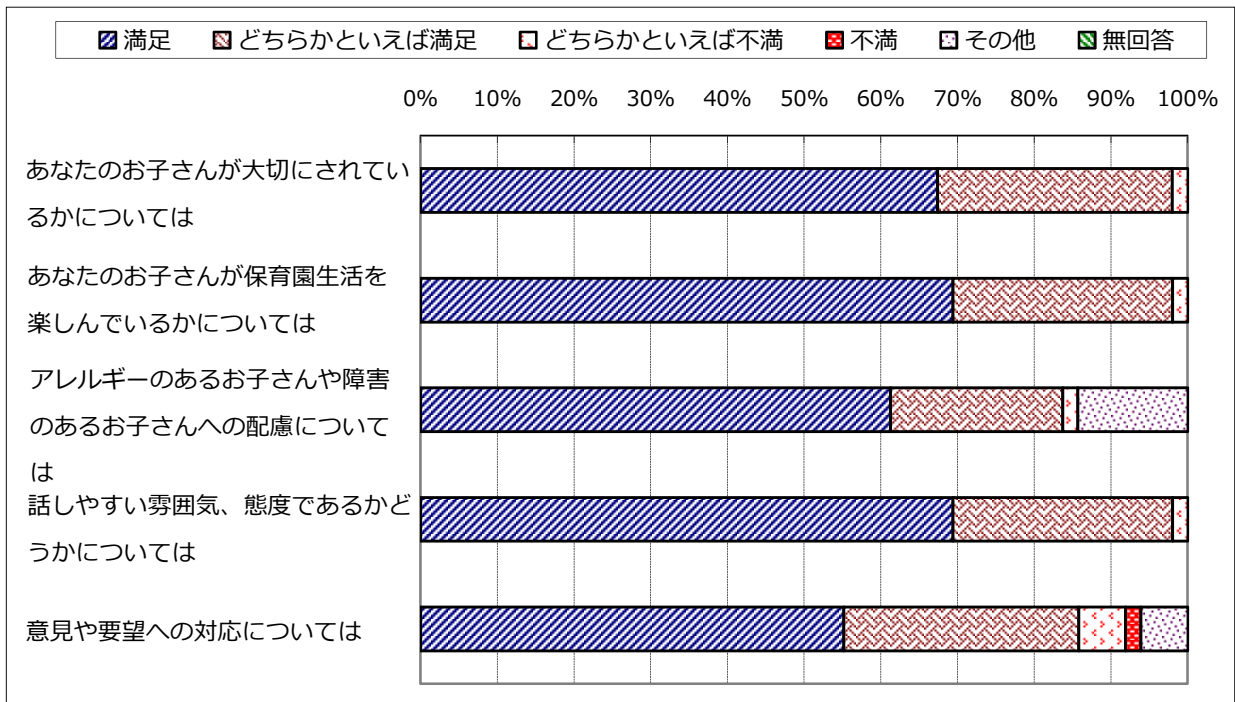
| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 |
|---|------|------------|------------|-----|-----|-----|
| 保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については | 46.9 | 40.8 | 4.1 | 0.0 | 8.2 | 0.0 |
| 園だよりや掲示による、園の様子や行事に関する情報提供については | 63.3 | 34.7 | 0.0 | 0.0 | 2.0 | 0.0 |
| 園の行事の開催日や時間帯への配慮については | 67.3 | 30.6 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については | 61.2 | 30.6 | 4.1 | 4.1 | 0.0 | 0.0 |
| お子さんに関する重要な情報の連絡体制については | 63.3 | 26.5 | 8.2 | 2.0 | 0.0 | 0.0 |
| 保護者からの相談事への対応には | 63.3 | 24.5 | 10.2 | 2.0 | 0.0 | 0.0 |
| 開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には | 63.3 | 22.4 | 8.2 | 2.0 | 4.1 | 0.0 |



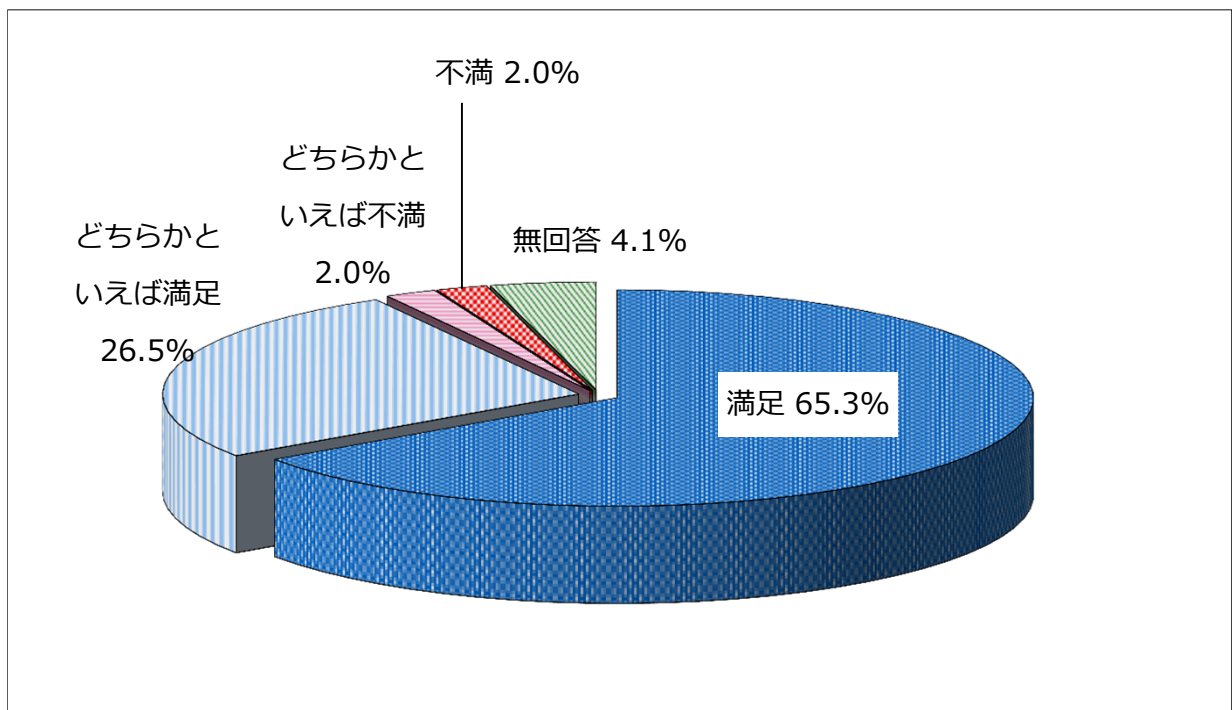
問7 職員の対応について

(%)

| | 満足 | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 |
|---------------------------------|------|------------|------------|-----|------|-----|
| あなたのお子さんが大切にされているかについては | 67.3 | 30.6 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては | 69.4 | 28.6 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については | 61.2 | 22.4 | 2.0 | 0.0 | 14.3 | 0.0 |
| 話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては | 69.4 | 28.6 | 2.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 意見や要望への対応については | 55.1 | 30.6 | 6.1 | 2.0 | 6.1 | 0.0 |



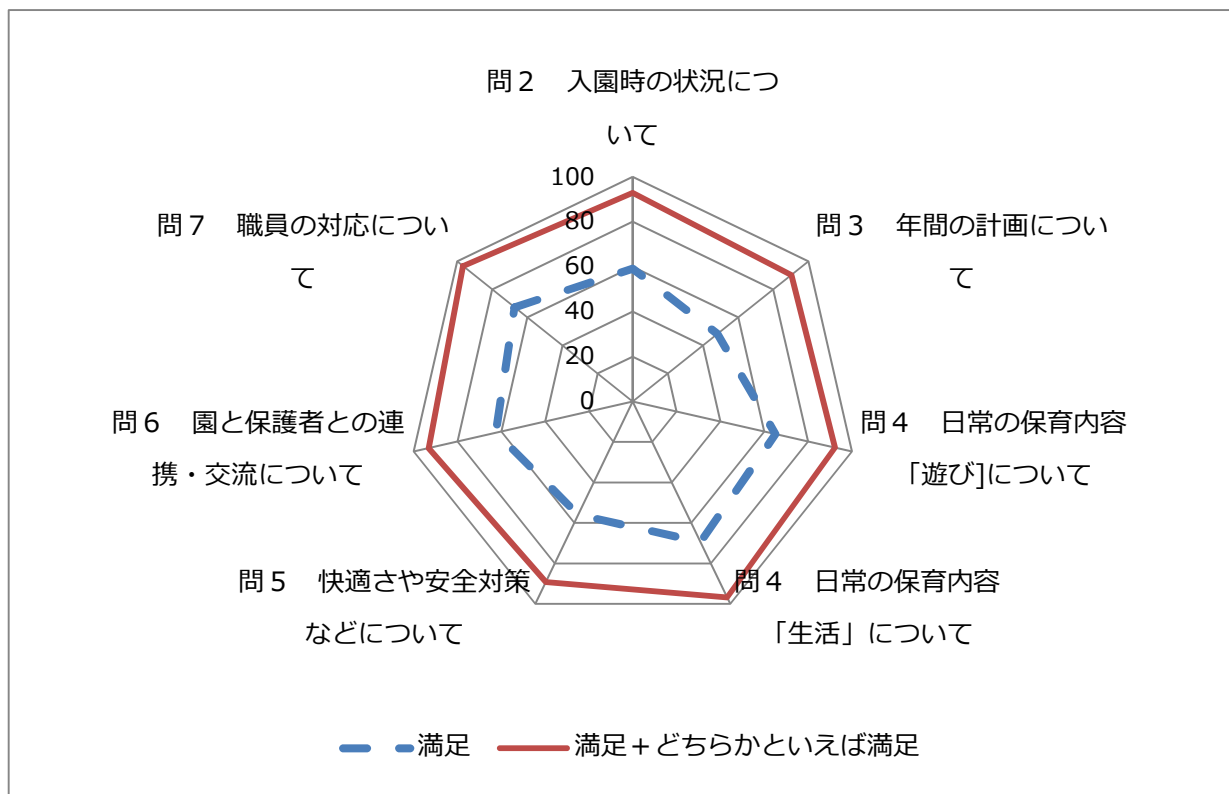
問8 保育園を総合的に評価すると



【参考資料1：中項目別平均満足度割合】

(%)

| 中項目 | 満足 | 満足+どちらかといえば満足 |
|---------------------|------|---------------|
| 問2 入園時の状況について | 59.1 | 92.8 |
| 問3 年間の計画について | 48.2 | 90.4 |
| 問4 日常の保育内容「遊び」について | 65.1 | 92.4 |
| 問4 日常の保育内容「生活」について | 69.4 | 96.8 |
| 問5 快適さや安全対策などについて | 56.0 | 89.3 |
| 問6 園と保護者との連携・交流について | 62.4 | 93.2 |
| 問7 職員の対応について | 67.2 | 96.6 |



※各中項目は、2～7つの小項目によって構成されており、各小項目の満足度割合から平均値を算出した。

※ここでの「満足度割合」は「その他」「無回答」を除外して計算してある。

【参考資料2：総合的な評価と相関が深い項目（相関分析）】

| 設問項目 | 相関係数 |
|---|------|
| 問6：お子さんに関する重要な情報の連絡体制については | .816 |
| 問6：送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については | .791 |
| 問6：保護者からの相談事への対応には | .787 |
| 問4：基本的な生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては | .768 |
| 問7：アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については | .757 |

※データ分析上は、上記の項目で「満足」と答えた人は、問8「総合的な評価」においても「満足」と回答した率が高い。（逆に「不満」と答えた人は、問8においても「不満」と回答した率が高い）

※上記の項目の満足度を高めることが、総合的な満足度の向上にもつながる可能性が高い。

利用者（園児）本人調査の結果概要

実施日：6月23日（月）、6月25日（水）

実施方法：観察調査を調査員が各クラスで実施し、戸外・園外での活動も観察した。

幼児を中心に、観察調査や昼食で同席した際に、会話の中で適宜聞き取りを実施した。

●0歳児クラス（みらい組）

子どもたちは保育士に見守られ、はいはいしたり、座っておもちゃで遊んだり、よちよち歩いたりしています。保育士のひざに登り抱っこをせがむ子どもがいると、保育士は必ず抱っこし視線を合わせてあやします。「おもちゃが上手に持てた」「はいはいが早くなった」「自分から歩き出した」など何かできると保育士みんなが拍手をして褒めてくれるので、子どももうれしそうに笑顔を返します。

食事の時間には、子ども一人一人のペースに合わせ、ゆったりと対応します。食べる意欲を示す子どもにはスプーン、手づかみなどそれぞれの発達に合わせ自分で食べるよう働きかけます。スプーンを使える子どもには食べやすいよう少しのせてあげます。保育士から「おいしい」「上手」「どうぞ」「もぐもぐ」など声をかけられ、子どもたちはそれぞれのペースで食事します。

●1歳児クラス（エンゼル組、キューピット組）

保育士の「お片づけできるかな」の声かけで片づけをします。子どもがケースにおもちゃを入れると、保育士が「ありがとう」と言い褒めます。保育士は片づけやすいおもちゃを子どもに渡し、一人が一つは片づけできるよう働きかけます。

お片づけの後はトイレです。オムツを外してもらい、一人ずつ便器に座ります。保育士が便器に座った園児の前で絵本を見せ、振りをつけて歌を歌うと、ほかの子どもたちも様子を見にきます。指人形などで興味を引き、みんなが座る練習をします。オムツをつけると、自分でズボンを見つけ、保育士に手を添えてもらい自分ではきます。

園庭では乳児用の遊具で遊びます。保育士に見守られ、順番に滑り台で遊びます。一人で滑り台を上がっていくことのできた子どもは、保育士に「すごいね、上がったねえ」などと褒めてもらいます。5歳児の保育室をのぞいたり、年上の子どもと交わったりする子どももいました。

●2歳児クラス（そら組、ほし組）

朝登園すると自由遊びです。母親と離れるのがつらくて泣く子どもは、保育士が抱っこしてベランダまで出てさようならをします。保育士が散乱しているおもちゃを片付け始めると、子どもたちもそれにつられて片付けます。

保育士がエレクトーンを弾くと、歌を歌いながら子どもたちが輪になっていきます。輪に加わらない子どもや保育士にべったりくっつく子ども、抱っこされている子どももいますが、保育士は強制することもなく子どもの気持ちを尊重しています。歌の後は朝のあいさつです。みんな、大きな声であいさつを交わします。

給食の前にも「給食うれしいな」の歌を歌い、「いただきます」のあいさつをします。お箸を使う子ども、フォークを使う子ども、とそれぞれ自分の食べやすい方法で食べています。子どもたちの食欲は旺盛で残食はありません。デザートを食べ終わると大きな声で「ごちそうさま」のあいさつをします。

食後に、保育士が「下の歯」「上の歯」「奥歯」と歌いながら歯を磨いてみせると、それを子どもたちも真似して歯磨きします。保育士がそれぞれの子どもをひざの上にのせて仕上げ磨きをします。

●3 歳児クラス（つき組、ひかり組）

保育士のエレクトーンに合わせた子どもたちの歌で朝の会が始まります。みんな歌詞を覚えていて、思いっきり声を出して歌っています。朝の会が終わると、トイレと水分補給をし、園庭遊びの準備をします。

園庭での子どもたちは元気いっぱいに身体を動かし、好きな遊びをします。大型アスレチック、ボール遊び、鬼ごっこ、泥団子作りなど、自由に自分のしたいことを選んで遊んでいます。保育士は危険がない限り指示は出さず、見守っています。

ほかのクラスも出てくると自然にみんなで遊びます。年下の子どもと一緒に遊んだり、自然によけて走ったりと異年齢での自然な交流ができています。園庭が広く、一人一人の子どもに十分なスペースがあるためか、小競り合いはあっても、いさかいやけんかはほとんどありません。

保育室に入るときは、並んで手を洗います。手洗いやトイレ等の場面では、みんな順番を守ることができ、列を乱すような子どもはいませんでした。

●4 歳児クラス（たいよう組）

登園した子どもたちはそれぞれに絵本やごっこ遊び、電車などでメンバーが入れ替わりながら遊んでいます。「仲間に入れて」「〇〇くん見て～」「ほくやってみよう」「どうぞ」などの会話を交わしています。小競り合いはありますが、「やめて」「ごめんね」「よいよ」と自分たちで話し合って解決しています。

観察日はリトミックがありました。整列しあいさつをしてから始めます。リトミック専任講師の弾くピアノの曲に合わせて腕の振り方を変えたり、歩き方を変えたりしてします。みんなニコニコとしてうれしそうに、身体を思いっきり動かしています。音楽に合わせて身体でリスやウサギを表現したり、カエルやオタマジャクシになって跳んだり泳ぐマネをしたりと、とても楽しそうに自分の思いを表現します。

活動のときは元気な子どもたちですが、給食の前等、次の活動に移るときには絵本や紙芝居、歌などで気持ちを切り替えています。子どもたちは保育士の顔を見て、しっかり話を聞くことができます。

●5 歳児クラス（ちきゅう組）

朝登園した子どもたちは友だちとルールを決めてゲームをしたり、ごっこ遊びをしたりして自由に過ごしています。直前に行われたお泊まり保育で行った児童野外活動センターの動物たちの塗り絵をしている子どもたちが多く、楽しかった話で盛り上がっています。お手本通りに色を塗っている子どももいますが、自由な発想でレインボーカラーの動物を仕上げている子どももいて、それぞれの個性がうかがえます。

一斉活動もお泊まり保育の絵でした。保育士と何が楽しかったかを振り返った後、一斉に描き出します。みんな、迷うことなく画面いっぱいに大胆な色彩で描いていて、お泊まり保育が楽しかったことが伝わります。絵を描いている間も楽しかった話で盛り上がります。保育士は描き終わった子どもから一人ずつ声をかけ、何について描いたかを聞いています。

絵の後には七夕の短冊を書きました。少し迷う子どももいるにはいますが、ほとんどの子どもが自分の希望を話すことができます。字が上手に書けない子どもには、保育士が手を添えて手伝っていました。

●まとめ

園庭や保育室は広々として子ども一人一人に十分なスペースがあります。恵まれた自然環境の中、子どもたちはのびのびと園生活を楽しんでいます。

保育士は子どもたちの思いを大切に、子どもたちとスキンシップをとったり、たくさん会話したりし、信頼関係を築いています。このような保育士の見守りのもと、子どもたちは自分の思いをたくさん表現することができます。

事業者コメント

第三者評価を通して

今回、初めて第三者評価を経験し、全職員が一丸となって話し合う機会を重ねることができ、とても有意義でした。保育園では、園長をはじめとして正職員の保育士、非常勤の保育士、調理担当、保健担当、環境整備等、様々な職員が保育を支えています。その職員全員が話し合いに参加してまいりました。全職員で顔を合わせながら改めて横浜文化保育園の保育、保育環境、子どもたちへの保育提案について確認したり、よりよい工夫点はないかと意見を出し合い、保育の質が高まりました。第三者評価が終わった今でも意識は変わらず、職員会議や研修の機会に生かされており、今後も子どもたちの育ちを支えるために高い意識を持ち続けてまいりたいと考えております。

第三者評価の実地調査では、調査者の方々から丁寧に保育を見ていただきました。そして、本園で大切にしている保育の内容を評価していただき、全職員にとって大きな励みとなりました。職員の子どもたちへの言葉かけの様子、子どもたちが広い園庭でのびのびと体を動かしながら遊んでいる姿やリトミックでのいきいきとした表情、またズッキーニを取り入れた新しい給食メニュー等を時間をかけて見ていただき、実地調査は貴重な経験となりました。さらに、面接や資料調査をしていただく中で、保育における課題点として地域との関わりの少なさをお示しいただきました。本園では、広い園庭環境で安全に遊んでいただけると考え、散歩の機会が少ないのですが、園外保育の利点として地域の人々とのかわり合いの重要性を再考する機会となりました。子どもたちにとってどのような経験となっていくのかを考慮させていただきながら見直してまいりたいと考えております。

最後に、本園では「よりよい保育をめざして」という内部研修を通して保育の質の向上に努めておりますが、第三者評価を通して、一層充実化をはかることができました。今度も年間研修の中に評価項目を取り込み、話し合う工夫を持ちながら、横浜文化保育園でご縁ある子どもたちと保護者のみなさまにとって温かい存在でありたいと気持ちを引き締めしております。第三者評価の実施に携わっていただいた関係者様、ありがとうございました。

横浜文化保育園 副園長 丸岡 絵理



-評価で次のステージへ-
since 2012

合同会社 評価市民・ネクスト

〒231-0003 横浜市中区北仲通 3-33 関内フューチャーセンター153

Tel: 050-3786-7048 Fax: 045-330-6048

URL: <http://www.hyouka-next.jp>